

【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【大湾区、世界レベルの都市群として台頭】](#)

[【香港フィンテックウィーク x StartmeupHK フェスティバル メインフォーラム閉幕】](#)

【大湾区、世界レベルの都市群として台頭】



第 15 回全国運動会（以下「全运会」）は、大湾区が初めて一体となって開催する大型総合スポーツ大会です。この全运会をきっかけに、大湾区の主要都市は、スポーツ・文化・経済・社会などの分野で交流協力を強化し、共に高品質な発展を推進しています。

大湾区は、国際一流のベイエリアと世界レベル都市群の構築において、卓越した成果を挙げています。最新のデータによりますと、2024 年における大湾区の経済規模は 14 兆 7,900 億人民元に達し、ニューヨークとサンフランシスコという二つの世界クラスのベイエリアを上回りました。

「スポーツイベント経済」が大湾区を活性化

10月12日、2025年広東・香港・マカオ青年ドラゴンボート招待レースが仏山大学仙溪キャンパスにて開催され、熱戦を繰り広げました。マカオ大学と仏山大学が共催したこのドラゴンボートレースには、広東・香港・マカオ三地域の14大学から集まった300名近くの学生が参加しました。

「スポーツイベント経済」は、広東・香港・マカオの経済の躍進を力強く後押ししています。今年上半期、国家体育总局弁公庁は「スポーツ消費とスポーツイベント経済促進パイロットリストの公表に関する通知」を発表し、広州市と深圳市がリスト入りしました。

2024年、広州市では省レベル以上のスポーツ大会が142件、大型の大衆的イベントが約200件開催され、スポーツ関連消費総額は631億2,500万人民元、市民一人当たりの消費額は3,345.51人民元に達し、全国でトップクラスにあります。2025年、広州市は時間を問わず楽しめる「山・水・城（都市）・海・館・園・空」を網羅する全域スポーツ消費システムが構築されつつあります。

常住人口の平均年齢がわずかに32.5歳の深圳特区では、昨年、FIBA3人制バスケットボール・マスターズ深圳福田大会、中国バドミントン・マスターズ、深圳マラソン、セーリングのワールド・マッチレーシング・ツアー（WMRT）ファイナルなど、一連のハイレベルな大会が開催されました。

今年の国慶節と中秋節が重なる連休期間中には、広東省で140件の大衆性スポーツイベントが開催され、前年同期比で33.3%増加しました。

科学技術イノベーションが大湾区の発展を加速

9月16日、調査船「海洋地質二号」が深海遠隔操作潜水艇「海馬号」を搭載し出航しました。「海馬号」は、広州海洋地質調査局が中心となって開発した潜水艇で、人間に代わって水深4,500メートルでの作業を行うことが可能です。今回の目的地は水深約1,500メートルの「海馬冷泉」海域で、第15回全運会の聖火を採火する役目を担っています。

9月1日には、世界知的所有権機関（WIPO）が香港で発表した「2025年グローバル・イノベーション・インデックス」世界の科学技術クラスタランキングにおいて「深圳－香港－広州」クラスタが1位に選ばれました。

中国科学院深圳先進技術研究院の院長劉陳立氏は、大湾区のイノベーションシステムにおける重要拠点として、同研究院は過去5年間で1日あたり平均4.7件の特許を出願し、1.3件の特許を譲渡、許諾していると明かしました。また、深圳証券取引所や大学の技術移転センターなどと連携し、企業のニーズに合わせたマッチングを進めていると語りました。

中国は当地域にて9つの重大科学技術インフラを整備しており、東莞市にある中国破砕中性子源（CSNS）は香港・マカオおよび世界各国の科学者に開放、共有されています。鵬城実験室や広州実験室なども順調に運営され、31社の広東・香港・マカオ共同実験室が相次いで設立されるなど、大湾区の科学技術イノベーションを共同で支える体制が築かれています。

広東省社会科学院の経済学研究員、丁力氏は、大湾区が発展の原動力を質の高い人的資本を中核とする「エンジニア・アドバンテージ」へと転換しつつあると述べています。現在、広東省全体の研究開発人員は158万人に達し、有効な資格を所持する外国人材は46,000人となっています。

大湾区の連携が高品質な発展を促進

香港、珠海、マカオの三地域を結ぶ港珠澳大橋は、2018年10月23日の正式開通以来、7年間で珠海公路口岸を経由して広東・香港・マカオ三地域を行き来した旅客数は延べ9,334万人、車両は延べ1,942万台を超えました。

今年の国慶節と中秋節の連休前には、大湾区においてさらに3路線（区間）の都市間鉄道と2路線（区間）の地下鉄が開通しました。広東省交通運輸庁の関係者によりますと、新路線開通後、広州の琶洲駅から30分で広州白雲空港

へ、30分で仏山市及び東莞市中心部へ、60分で深圳空港、肇慶及び惠州市中心部へ到達できるようになりました。

日増しに強化される交通ネットワークに加えて、規制の融通やコミュニティの融合も、大湾区の中で多くの人々が自由に行き来することを可能にしています。これまでに、広東・香港・マカオの三地域は262項目の「大湾区標準」を共同で発表しており、交通、水利、漢方薬、グリーンエコロジー、高齢者サービスなど36つの分野をカバーしています。

【香港フィンテックウィーク x StartmeupHK フェスティバル メインフォーラム閉幕】



11月3日、4日の2日間にわたって開催された「香港フィンテックウィーク x StartmeupHK フェスティバル 2025」メインフォーラムが無事閉幕しました。世界各国の政府関係者、規制当局、フィンテックイノベーター、企業創業者、投資家、業界リーダーらが出席し、未来を見据えたパネルディスカッション、基調講演、政策交流が数多く行われました。これは、香港のデジタル経済に対する確固たるコミットメントが明らかにされるとともに、香港の国際金融センター及びスタートアップハブとしての地位が更に強化されるものとなりました。

香港行政長官の李家超氏は開会の挨拶で、香港がイノベーションと協力の架け橋として、その優位性をより一層発揮し、企業、起業家、投資家、専門家がそれぞれの能力を最大限に発揮できるよう尽力すると強調しました。

今年の『世界投資報告書』において、香港は外資直接投資流入の総合ランキングで 3 位に上昇し、また今年の香港における株式公開募資金額も目覚ましい成果を収めています。李家超氏は、これらの国際的評価は、香港が「スーパーコネクター」及び「スーパー・バリュー・アドダー」としての地位を十分に反映していると示しました。

更に、財政司司長の陳茂波氏はパネルディスカッションで、香港のフィンテックに関する戦略的ビジョンを説明しました。彼は、デジタルトランスフォーメーションには大きな潜在力があり、香港の規制当局もイノベーション促進の上で重要な役割を果たしているとの見解を示しました。

商務及び経済發展局局長の丘應樺氏は 2 日目の基調講演で、香港のスタートアップエコシステムが急速に成長しており、スタートアップ企業数は過去 10 年で約 3 倍に増加し、昨年は約 4,700 社に達したことを明らかにしました。同時に、香港の起業家精神、グローバルな連携性、クロスボーダーの相乗効果によって、革新的なアイデアの成長と産業変革にとって理想的な環境が創出されていると述べました。

香港フィンテックウィークと StartmeupHK フェスティバルという二つの旗艦イベントは、今年で 10 周年の節目を迎え、初めて合同開催されました。アジア、中国本土、ヨーロッパ、中東からのスタートアップ企業は、ピッチセッション、ベンチャーキャピタル展示会、業界交流会を通じて、業界専門家からの深い知見を得るとともに、ビジネスリーダーや先端技術専門家との交流を行いました。11 のテーマ別フォーラムでは、人工知能と先端技術、デジタル金融、ヘルステック、グローバルイノベーションなどが議論されました。関連のその他イベントは 11 月 7 日まで香港各地で開催されました。

【参考資料】

- ・ [大湾区、世界レベルの都市群として台頭](#)
- ・ [香港フィンテックウィーク x StartmeupHK フェスティバル メインフォーラム閉幕](#)

青葉【WeChat 公式】のフォローをご希望の方は、
右記の QR コードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChat アプリにて、QR コードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度情報も WeChat の公式アカウントに掲載しています。



=====

[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNS でも随時情報を発信してまいりますので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当:

香港：新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

広州：Monica Tian/田 倩 <monica.tian@aoba.com.hk>

北京：Susan Zhao/趙 素艷 <susan.zhao@aoba.com.hk>

=====